

令和2年5月15日

市議会議員各位

生涯学習部長 藤本 裕

図書館の予約資料の貸出開始について

政府の緊急事態宣言が5月31日まで延長されており、本市図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月2日まで全館を臨時休館することとしています。

しかし、臨時休館が長期になっていること、また市民の図書館再開を望む声が多くなってきていることを鑑みますと、今後、施設利用が再開した際には、多くの市民が一度期に図書館に来館することが予想され、その結果、図書館で3密状態になることが危惧されます。

それを回避する策として、図書館では、段階を経て緩やかに図書館サービスを再開し、最終的に完全な開館形態に戻すことを検討しています。

今回、その第一段階として、市民に不要不急の外出を控えていただいている状況のなかでも、感染防止策を講じつつ実施可能である市民サービスとして、予約資料の貸出しを開始することしますので、お知らせさせていただきます。

なお、今後につきましては、状況を鑑みながら、第二段階として予約受付の再開、第三段階として一部制限を設けながらの施設の開館再開等を予定しています。

- 1 予約資料貸出窓口の開設施設
図書館本館、緑分室、東分室、貫井北分室（西之台図書室を除く）
- 2 開設開始日
令和2年5月20日（水）
- 3 開設時間
全館 午前10時～午後5時
- 4 窓口で行う業務
(1)用意できている予約資料の貸出
(2)ブックポストに返却できない資料（CD等）の受取り
- 5 感染防止策
職員は、マスク・手袋を着用し、窓口には手指消毒液や飛沫防止用シート等を設置するとともに密閉、密集、密接にならないための対策を講じます。



検索



- くらし
- 子育て・教育
- 健康・福祉
- 市政
- 観光・文化

[トップページ](#) / [市政](#) / [職員採用情報](#) / [会計年度任用職員（時間額制）募集](#)
[会計年度任用職員時間制（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急雇用）を募集](#)

会計年度任用職員時間制（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急雇用）を募集

更新日：2020年5月18日

小金井市では、新型コロナウイルス感染症による雇用情勢の悪化を踏まえ、緊急雇用対策として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた方々を対象に、会計年度任用職員（時間額制）を募集します。

職種

一般事務

業務内容

新型コロナウイルス感染症に関する補助業務及びその他、一般事務に関する補助業務等（パソコンへのデータ入力作業及び窓口・電話対応等）。

募集人数

2名から5名程度

資格要件

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、内定を取り消された方及び雇止めになった方
注記：採用後に資格要件がないことが判明した場合は、採用を取り消します。

時給

1,020円

注記：一定の要件を満たす場合、健康保険、厚生年金保険、雇用保険等を適用します。
注記：一定の要件を満たす場合、通勤手当に相当する額を支給します。

勤務場所

福祉保健部地域福祉課等（小金井市役所第二庁舎2階）

勤務時間

月20日程度 午前9時から午後4時30分まで（うち休憩時間1時間）
注記：原則として時間外勤務はありません。
注記：勤務時間・日数については、ご相談の上決定します。

任用期間

会計年度任用職員（時間額制）募集

- > [急募 会計年度任用職員時間額制（保育士補助業務）を募集](#)
- > [急募 会計年度任用職員時間額制（保育士）登録者募集](#)
- > [急募 会計年度任用職員時間額制（介護認定調査員）を募集](#)
- > [急募 会計年度任用職員時間額制（栄養士）を募集](#)
- > [市役所で会計年度任用職員（時間額制）の募集はしていますか？](#)
- > [会計年度任用職員（時間額制）の登録者募集](#)

★お気に入り [> 編集](#)

[+ このページを登録する](#)

? [情報がみつからないときは](#)

令和2年6月1日から令和2年8月31日まで

注記：原則として、最初の1か月は条件付採用期間となります。

注記：勤務開始日は、令和2年6月1日以降になることもあります。（任用期間も変更の可能性があります。）

休暇（無給）

公民権の行使休暇、産前産後休暇、育児時間、生理休暇

注記：休暇によって、一定の要件を満たす場合あり

申込期間・方法

職員課人事研修係（小金井市役所本庁舎1階）にて、令和2年5月27日（水曜）まで受付しています（午前8時30分から午後5時15分まで（ただし、土日及び平日の正午から午後1時までの時間帯を除く））。

注記：小金井市会計年度任用職員（時間額制）任用申込書の様式は、以下よりダウンロードできるほか、職員課窓口でも配布しています。

注記：写真（縦4センチメートル×横3センチメートル、3か月以内に撮影したもの）を添付した申込書に加えて、内定取消通知等の内定が取り消されたことを証明する書面又は雇止めになったことを証明する書面も併せて提出してください（ただし、当該書面の交付を受けていない場合は、書類提出時に申し出てください。）。

注記：申込書の「その他特記事項」欄に、「内定先、内定取消理由」又は「就業先、雇止め理由」を必ず記載してください。

■ [小金井市会計年度任用職員（時給制）任用申込書兼登録書兼名簿（PDF：80KB）](#)

その他

当該募集で採用されなかった場合、市役所内での他の業務をご紹介させていただく場合もあります。詳細については、お気軽にお問合せください。

注記：以下、地方公務員法第16条に該当する方は、申込できません。

- ・ 禁煙以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・ 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者
- ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

PDF形式のファイルを開くには、Adobe Acrobat Reader DC（旧Adobe Reader）が必要です。

お持ちでない方は、Adobe社から無償でダウンロードできます。



[Adobe Acrobat Reader DCのダウンロードへ](#)

お問い合わせ

職員課人事研修係

電話：042-387-9808

FAX：042-384-6426

メールアドレス：s020399(at)koganei-shi.jp

注記：迷惑メール対策のため、メールアドレスの表記を一部変更しております。お手数ですが、メール送信の際は(at)を@に置き換えてご利用ください。

[このページのトップへ](#)

[このホームページについて](#) [リンク集](#) [モバイル版](#)

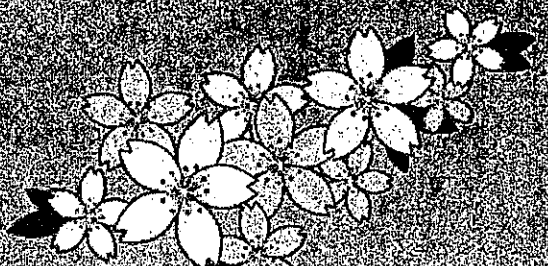
小金井市役所

[市役所への地図](#)

〒184-8504 東京都小金井市本町6丁目6番3号

電話：042-385-1111（代表）

法人番号50000201321011（法人番号について）



～新型コロナウイルス感染症の影響を受けた福祉関係施設の皆さまへ～

無担保・無利子で経営資金の融資を行っています

新型コロナウイルスの感染によって事業停止などになった福祉関係施設に対し、優遇融資を実施しています。経営資金の貸し付け利率の引き下げ実施、既往貸付の返済猶予の相談に対応しています。

【融資を利用できる具体例】

- ・施設利用者や従業員の方が新型コロナウイルスに感染したため、やむなく営業を停止した場合
- ・施設利用者や従業員の方が新型コロナウイルスに感染したことに伴い、事業運営を縮小した場合
- ・新型コロナウイルス感染症の防止のため、自治体などからの要請を受けて、休業した場合

【①新規貸付】

	主な融資条件
償還期間 (据置期間：元金の返済猶予期間)	10年以内 (5年以内)
貸付利率※	当初5年間 3,000万円まで無利子 3,000万円超の部分は0.2% 6年目以降 0.2%
限度額 (無担保貸付)	なし (6,000万円)

※貸付利率は令和2年4月1日現在のものです。

※利率は、融資実行（金銭消費貸借契約締結）時の利率を適用します。

●ご融資には保証人（保証人不要制度あり）が必要です。

※保証人不要制度（0.05%の利率を上乗せ）がご利用できます。

また、所定の審査があり、ご希望に沿えない場合があります。

【②既往貸付】

当面6か月間の元利金のお支払いについて、返済猶予のご相談に応じます。

●その他詳しい条件や融資のご相談については、下記連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ

新規貸付

●開設地が東日本(北海道～三重県)：東京本部

福祉医療貸付部 TEL 03-3438-9298
福祉審査課 TEL 03-3438-0207
FAX 03-3438-0659

●開設地が西日本(福井県～沖縄県)：大阪支店

大阪支店 TEL 06-6252-0216
福祉審査課 FAX 06-6252-0240

既往貸付

東京本部 顧客業務部 顧客業務課 TEL 03-3438-9939 FAX 03-3438-0248

各市の新型コロナウイルスに関する対応等に関する調査票（第3弾）

【回答期限：令和2年5月18日(月)午後3時まで】

送付先 東京都市長会事務局

【アンケート1】

5月14日(木)に公表予定の国の対処方針、これを踏まえた東京都の対応方針を受けて、近く、市長会と知事との意見交換の実施が予定されています。つきましては、この意見交換ならびに併せて東京都に提出予定の要望書に各市の現場の声を反映させるため、この局面で、各市が東京都に早急な対応を求める事項を、以下の枠内に簡潔に列挙してください。

(1) 早急に対応を求める事項（上位3件でお願いします。）

分類	事項	備考(補足説明)
1 医療	新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波が来た場合の予防対応の検討について	
2 市民生活・経済	新型コロナウイルス感染拡大により、売上が減少している事業者等に対する支援	
2 市民生活・経済	マスク等の衛生用品や消毒液がまだ不足している。配給または補助金のさらなる拡充を求める。	

※分類：1医療 2市民生活・経済 3負担軽減策 4連絡体制 5新たな需要・課題 6その他

(2) 自由意見

・公共施設の休館に伴う、指定管理者の事業収入の減少による休業補償など、市町村負担の財政支援やイベント中止に伴う事業者への補償等の支援を引き続き願いたい。

【アンケート2】

〈各市から情報共有の希望があった項目について〉

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」や「東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金」を活用した取組について、各市が予定している内容を可能な範囲で御記入ください。（事業名、対象者、事業費、事業概要等）

※適宜、欄・幅は追加して御記入ください。

交付金の種類	事業名	対象者	事業費	事業概要等
1 国	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業		約420百万円	児童・生徒一人当たり一台の端末整備を見据えて、市立小・中学校通信ネットワーク環境を整備する。
1 国	公立学校情報機器整備事業		約347百万円	市立小・中学校の児童・生徒一人当たり一台の端末整備を実現する。
2 都	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業		約420百万円	児童・生徒一人当たり一台の端末整備を見据えて、市立小・中学校通信ネットワーク環境を整備する。
2 都	公立学校情報機器整備事業		約347百万円	市立小・中学校の児童・生徒一人当たり一台の端末整備を実現する。
2 都	児童扶養手当受給者支援臨時特別給付金	児童扶養手当受給者	約29百万円	児童扶養手当の支給を受けている市民に対し、市独自の給付を実施する。
2 都	事業継続支援給付金	市内事業者	約182百万円	市内事業者へ給付金を交付する。

■ご記入者 ※ お忙しいところ御協力いただきありがとうございました。

市名	
所属部署	
氏名	
電話番号	
メール	

*アンケート1 (1) の回答分類の補足

- 1医療 … 感染拡大防止や地域医療体制の維持・確保など
- 2市民生活・経済 … 市民の生活や地域事業者に対する支援など
- 3負担軽減策 … 市の業務及び財政負担を軽減するための取組
- 4連絡体制 … 各市、都、国等における正確な連絡体制の確保、強化など
- 5新たな需要・課題 … 新たに発生もしくは想定される需要や課題への対応
- 6その他 …

各市の新型コロナウイルスに関する対応等に関する調査票（第2弾）

調査対象：多摩26市 回答市：26市(令和2年5月12日現在) 令和2年5月実施

分野	問	内容	回答欄									
勤務 体制 等	1	職員のテレワーク時に必要なデータや情報の取扱い及びその通信方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の持出し不可 ・所属長が許可したデータのみ持出し可 ・在宅ワークで作成したデータの庁内ネットワークへの取込み不可 ・テレワークの条件としてウイルスソフト、OSが最新のもの ・市が用意した端末を貸与 ・VPNで仮想専用線を確立し、シンクライアント方式で画面転送のみ 									
	2	テレビ会議の実施状況について 右欄のリストから御回答ください。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px; text-align: center;">1</td> <td style="width: 30px;">実施済み</td> <td style="width: 40px; text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>未実施・検討中</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>無回答</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>	1	実施済み	9	2	未実施・検討中	17	3	無回答	0
	1	実施済み	9									
	2	未実施・検討中	17									
	3	無回答	0									
	3-1	問2の回答が1の場合のみお答えください。 対応しているアプリケーション（ソフト）は、どのようなものですか (例：ZOOM, Skype, facetime, Microsoft Teams)	ZOOM、Skype、MicrosoftTeams、Webex、Cisco、facetime、ハングアウトMeet									
	3-2	問2の回答が2の場合のみお答えください。 検討中・未実施の理由がありますか (例 セキュリティの観点から実施していない。)	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ面の懸念 ・導入・運用費用 ・運用ルール等の未整備 									
	4	法定で義務付けられている会議の開催にあたり、「三密」とならぬよう行っている取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・換気の徹底 ・時間短縮 ・延期やweb会議の検討を含め各課判断 ・空間の確保（席を一つ飛ばし等） ・会場及び手指の消毒 									
5	市職員等が感染者となった場合の事業継続等への対応策について	<ul style="list-style-type: none"> ・2班制でローテーションし、感染者が出た場合は、その班の職員は自宅待機 ・在宅勤務の導入 ・他課からの応援 										
6	緊急事態宣言が長期にわたった場合における職員の時差勤務や交代制在宅勤務等の対応策（継続方針など）について	<ul style="list-style-type: none"> ・時差勤務、在宅勤務の継続 ・2班制のローテーションの継続 ・業務継続計画に基づき対応 										

特別定額給付金	7	特別定額給付金などの緊急対策にかかる補正予算の決定方法（専決処分・臨時議会など）及びその時期（〇月〇日）について	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分（4/27、4/28、4/30、5/1、5/8、5/15） ・臨時議会（5/13） ・定例議会（6月）
	8	特別定額給付金の給付開始時期について（〇月〇旬頃を予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・5月下旬 ・6月中旬、下旬 ※オンラインと郵便で差がある自治体有り
	9	特別定額給付金について、DV避難者以外の特別な配慮を要する方などへの支給にあたっての取組状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・相談者の状況に応じて対応
PCRセンター	10	PCRセンターを設置した場合の個人情報取扱いの対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会が法令に則り扱うものと想定 ・通常の個人情報の取扱いと同様 ・医師会と調整・検討（協定書に記載） ・市の条例の規定で対応
その他	11	市単独による経済対策等の実施内容と、その財源について *4月(前回)のアンケートで回答済みのものを除く	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の飲食業者の宣伝（テイクアウトの推奨） ・各種給付金、補助金、商品券の発行 ・中小企業診断士によるセーフティネット認定保証 ・融資相談窓口の開設 ・郵送物の費用負担
	12	市民への新型コロナウイルスに関する情報の提供について（SNSの活用やコロナ対策に特化したアプリの開発など）	<ul style="list-style-type: none"> ・市報、掲示板・HP・SNS・メールマガジン・マチコミメール・スマートフォン用アプリ・防災行政無線・青パト、ゴミ収集車による広報・安全・安心情報送信サービス、youtube動画、AI総合案内サービス（チャットボット）
	13	計画期間満了を迎える次期計画策定等の遅延が見込まれる場合の対応状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の書面開催 ・可能な範囲で計画策定の延期等の検討 ・内部での意思決定（必要に応じて議会へ報告）
	14	国勢調査実施スケジュールの見直し等の状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・検討中、特に対応なし ・調査員の面接方法の変更 ・調査員募集期間の延長 ・時給制会計年度任用職員の配置時期の変更 ・契約行為等の保留 ・各種団体への協力依頼延期 ・調査員応募者への対応保留 ・7月上旬目途に出される総務省の方針に従い対応

その他	15	臨時休館などの措置による費用負担に関する指定管理者等への対応状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・合理性が認められる範囲内での補償 ・休業補償を要求されている施設あり ・個別の状況に応じて対応 ・（一社）指定管理者協会の通知令和2年3月24日付「新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う指定管理施設の対応に関するお願い（第3報）」を参考に対応。
	16	新型コロナウイルス感染症に係る物品寄付の際の受入れ範囲、基準などについて	<ul style="list-style-type: none"> ・都度判断 ・品質保証がなされているもの ・一定数以上の物品（消毒液、サージカルマスク等）
	17	(両)親がウイルス感染した場合における、その子どもの預け先や保護についての対応状況について (特に、ひとり親や障害児の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と相談し、対応 ・保健所や指定特定相談支援事業所等と連携し、必要なサービスの提供を行うとともに、障害者（児）福祉施設などでの緊急的な受け入れの要請を行い対処 ・ショートステイ事業の活用 ・親族支援の確認 ・一時保育の紹介 ・登園自粛依頼
	18	ごみの収集（古布、粗大ごみ等）に関する特段の対応状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・時差勤務 ・複数班によるローテーション ・収集品目の限定の検討 ・古布の収集の中止 ・粗大ゴミの受入縮小 ・園芸用土・油の拠点回収の中止
	19	市民が密集する公園等への対応状況について (遊具利用中止、駐車場閉鎖など)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設閉鎖 ・駐車場のみ閉鎖 ・遊具の使用禁止 ・テーブル付きベンチの使用停止
	20	小中学校の1人1台PC配備に係る予算措置の時期（〇月）、期間（〇か年）について	<ul style="list-style-type: none"> ・6月補正、令和2年度配置、60月リース ・9月補正、令和2年～5年、2年間、未定

国、都に対する要望

21

国、都に対する要望事項等として追加があれば御記入ください。
*4月(前回)のアンケートで回答済みのものを除く

- ・国勢調査についての対応
- ・交付金関連事業の手続き簡素化
- ・マイナポータルを通じた交付金手続きの改善
- ・GIGAスクール構想実現に伴う経費への財政支援
- ・国の施策についての市への情報提供体制の改善
- ・業務の軽減等(定例的な調査の中止、要介護認定事務の改善、補助金の申請期限・条件の緩和)
- ・都が主導するPCR検査体制の充実
- ・軽度陽性者のためのホテル等の確保
- ・災害時における自宅療養者の対応(避難所での感染予防等)
- ・高齢、障害者施設等でクラスターがあった場合等の対応事例を情報提供
- ・財政支援
- ・法制度に基づき高齢者や障がい者へサービスを提供している事業者に対する減収補填等の支援を行うこと。
- ・公衆浴場に対する新たな支援を要望する。
- ・児童用マスクの供給
- ・学童クラブ等の運営委託事業者が活用できる補助金等
- ・国民健康保険税や後期高齢者医療保険料における公費負担割合や軽減措置の拡充
- ・国民健康保険で支給する新型コロナに係る傷病手当金の対象に、個人事業主やフリーランスを追加。

2020年5月13日(水)

小金井市長 西岡真一郎 様

小金井市教育長 大熊雅士 様

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会派要望(その5)

会派：小金井をおもしろくする会
白井亨・水谷たかこ

学校教育現場においては、校長および副校長をはじめ各教員ならびに全学校関係者の皆様には日頃から小金井市の子どもたちの教育に携わっていただき心から感謝を申し上げます。市立小中学校の臨時休校が5月31日まで延長になったため、改めてこの点に絞り市民アンケートを実施した(5月5日～11日迄/インターネットアンケート)。この新型コロナウイルス禍においても、子どもたちの教育への関わりに対しては様々な条件や制約により歯がゆい想いをされてきたこと、想像に難くない。それを前提として、小金井市および市教育委員会として添付の「市民アンケート結果」に書かれてある保護者の声に耳を傾け、以下の点について早急にご対応いただくよう強く要望する。

<要望事項>

子どもの教育およびQOL格差が深刻化している。これを改善せよ

○あらゆる手段を駆使し、端末や通信機器の確保に乗り出すこと

かねてから要望してきたICT教育への対応に向け、家庭の状況に応じて端末と通信機器を貸与するために既に全保護者へアンケートを取るなど動いていただいているが、端末等の確保に課題がある場合は、地域に呼びかけて寄付や貸与いただくことも検討すること。

○担任教員によるオンラインや電話等による個別指導をもっと手厚く行うこと

自習の進捗状況を確認し、学習の進め方(授業ではない)のアドバイス実施により、子どもたちの学習意欲を維持し、生活リズムを崩さないよう最大限の工夫を求める。オンライン対面で対応できる子どもは先行させ、それが不可能な子どもへは個別登校や電話などあらゆる手段でより丁寧にサポートすること。手段の一律化の概念から脱却し、成果の一律化をめざすこと。

○学年ごとの課題に応じた配慮の対応を心がけること

小中学校ともに新1年生、および受験を控えた学年では不安が増幅している。これら学年の状況を特段に配慮した先生からの連絡対応や登校日を設けること。

○子どもや保護者が気軽に先生と相談・質問のやり取りができる手段を設けること

未だ学校によって情報とコミュニケーションの温度差がある。かつての放置状態は改善されてきたが、臨時休校延長では課題のみならず授業までも家庭へ押し付けられたと捉えた保護者が多い。その最大の問題は「問い合わせ、相談しづらい」ということである。児童・生徒・保護者が気軽にやり取りできるコミュニケーションの手段を導入すること。ある小学校ではクラス担任教員ごとに質問や相談専用の gmail アドレスが設けられ、気軽に連絡を取り合うことができる。こういったことも参考に気軽なコミュニケーション手段の導入をすること。

○学校内給食調理室のエアコン設備の導入を緊急に進めること

現段階において一学期の終業式が7月31日と設定されており、真夏の給食調理業務に支障をきたさないためにも、体育館エアコンの工事予算を部分的に付け替えるなどし、これに取り組むこと。

○地域人材へ協力要請をすること

教員や学校関係者だけではなく、地域全体で子どもたちの教育環境をつくること。地域には多方面の分野で活躍する人材がいて、子どもたちの現状を憂いている人も多い。今こそ、地域の力を教育に活かしていただく時機である。

○子どもの権利を守るために専門の相談窓口を緊急的に設置し、周知に努めること

家庭内に居場所がない児童・生徒がいるという認識に立ち、子どもでも保護者でも気軽に相談できる環境が必要である。また、待つだけではなく市内を巡回するなどして、学校・子ども家庭支援センターなどが連携を取りながら支援を必要とする子どものニーズを吸い上げ、対応すること。

○上記の要望の数々を実現するために必要な予算を早急に組むこと

以上

小金井市長 西岡真一郎 様
小金井市教育長 大熊雅士 様

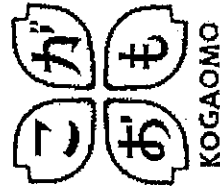
市立小中学校臨時休校 延長にあたって 保護者の声

Ver.01 2020.5.13

緊急アンケート結果



mercado21によるPixabayからの画像



会派

小金井をおもしろくする会

2020.5.13 wed

白井亨 / 水谷たかこ

緊急アンケートを実施

【調査方法】

インターネットアンケート

※Googleアンケートにて2020年5月5日～11日の7日間

回答者数: **43**人(n数) 小学生の保護者

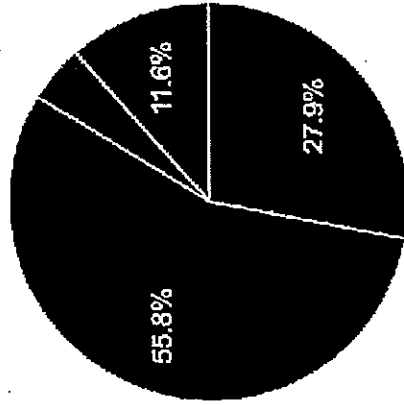
回答者数: **13**人(n数) 中学生の保護者

企画: 小金井をおもしろくする会(市議会会派)

【インターネットアンケートのねらい】
小金井市立小中学校の臨時休校が5月31日迄延長となり
ました。これまでの学校側の学習面の支援に不満の声も
聴いております。休校が延長になることで各学校から今
後の学習支援のあり方が連絡されていますが、これにつ
いて親の立場から意見を聴き、今後の提言に活かすこと。

Q. 休校中(平日)、あなたのご家庭の状況について

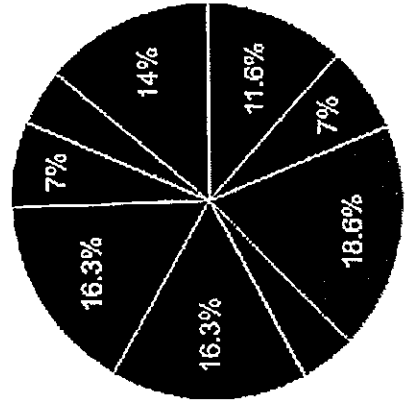
N=43



- ほぼ毎日、大人が家にいる
- ほぼ毎日、大人が家にいる (+在宅ワークあり)
- 週に何日かは大人が家にいる
- 週に何日かは大人が家にいる (+在宅ワークあり)
- 大人がほとんど家にいない (もしくは学校へ預けている)

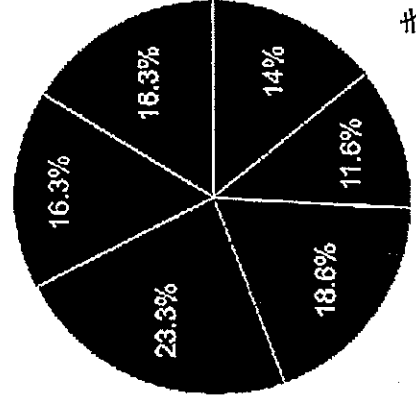
3分の2が在宅ワークあり。
大人が子どもにつきっきりで
いられる家庭は約28%

Q. お子さんの小学校は



- 第一小学校
- 第二小学校
- 第三小学校
- 第四小学校
- 東小学校
- 緑小学校
- 本町小学校
- 前原小学校
- 南小学校

Q. お子さんの学年(1人目)



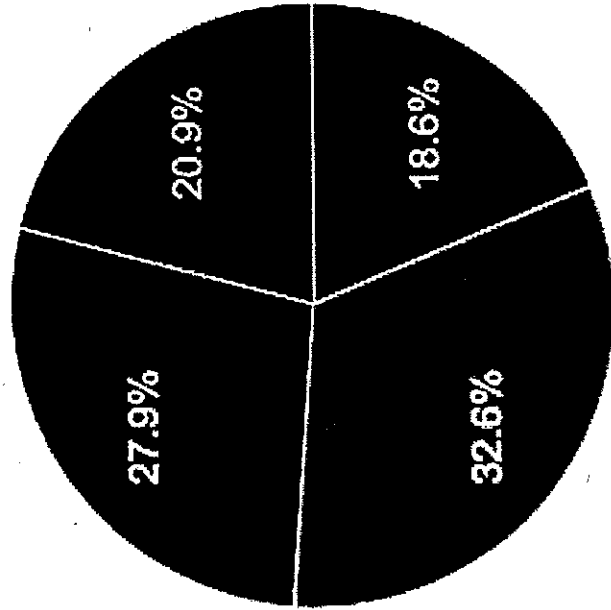
- 小学校1年生
- 小学校2年生
- 小学校3年生
- 小学校4年生
- 小学校5年生
- 小学校6年生

きょうだいがいるご家庭が3割でした。

Q. これまで(～5月6日迄)の休校中の 子どもの学習支援について

N=43

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- わからない/どちらともいえない
- どちらかといえば不満である
- 不満である



「不満」「どちらかといえば不
満」=48.8%と約半数が少な
からず不満に感じていた



Q. 自由記述

これまで(～5月6日迄)の休校中の
子どもの学習支援について【選択した理由】

不満 / どちらかといえば不満①

- 宿題が段階的に増えていくのは良いし、保護者に新学年の学習指導を委ねない点も良い。しかし、出っぱなしであるところと新学年の学習が全く進まないところには不安感がある。特に、他自治体の情報を聞くと...
- 休校が始まって2か月、宿題は提示しっぱなし、1回だけ2分程度の電話連絡、これらが学習「支援」に当たるのでしようか?? 宿題は質問の受付～回答の解説を示して欲しい。手間はたくさんあると思うし、それを考えるための時間もあつたと思えます。残念ながら現状は学校の自己満足で終わっている印象です。学校も頑張ってくれていると思っていますが、2か月間全く変わらない状況で、今は何も無いよりはマジという程度に受け止めています。これから大きく変わるところが見えなければ、学校への信頼も無くなりそうです。
- 課題配布のみ。説明不足。
- 学習に対するフォローが少なかつた。

課題を提示しっぱなしでフォローがないことへの不満

○課題に集中してやるには親がどうしてもついていなくてはならず、リモートワークの中では難しいところがあります。結果親が教える状況でしかならず、学校から何かしてもらったという印象はありません。

○漢字ドリルやプリントを子どもにやらせるのに親の負担が大きいため不満に感じます。

○宿題でわからないところを聞ける人もおらず、親も小さい下の子どもをみながら教えられる時間がなかなかない。

○家庭に丸投げな感じが強く、家事に少量の在宅ワークと育児で、もう疲れ果てています。

仕事等の兼ね合いもあり、親の負担が大きい

- 宿題が少なく、1、2日程度で終わる量しかありませんでした。
- 新一年生で難しいとは思いますが、何も課題などが無く1ヶ月過ぎており、ちょっと微妙です。
- 宿題が少ない。やったことを評価してくれるようにして欲しい。
- 宿題が少ない、アフターフォローがない
- 宿題が物足りない

課題が少なすぎる

Q. 自由記述

これまで(～5月6日迄)の休校中の
子どもの学習支援について【選択した理由】

不満／ どちらかといえば不満②

○3～4月の臨時休校期間中、いわゆる登校日(HRがある登校日)が3日しかなく、後は週1回の学校側からの一斉メールで宿題が通知されるだけで、先生-生徒間の双方向のコミュニケーションを取ることがほぼできませんでした。

○先生からの連絡は5月1日に初めてあった。遅い対応だと思った。子どもたちは入学式の日にあっただけで、まだ担任の事は知らない大人かと思っていないので、子と電話で話したいと先生は言ってくれたが子どもは逃げて行って話そうとしなかった。

○課題だけ渡して基本ほったらかしです。一年生は担任の先生から一度電話があった程度。オンラインとか、j-comとか、youtubeのメニュー提供とか、学校で希望者だけとか、出席番号で分けるとか、運動場で間引いて活動とか、できることが少しくらいあるとは思いうし、現場の先生も提案してると思うのですが。。

○宿題は復習プリントが少しのみ、先生から連絡もなく、学校がどういう方向で何を検討しているかも見えないまま、放置されているように感じた。3月のうちは仕方がないと思っていたが、4月半ばになってからもそのまま、だいぶ待ってようやく来たスクールメールが「先生たちの好きな曲」だったときははずこけた。(そもそも担任が変わって親しみどころか面識もないので、そのようなメッセージは意味をなさなかった。)もう学校を待っていても仕方がないと割りきり、親がいろいろ準備、工夫してやらせているが、仕事の調整も綱渡りでかなり困難。

○学び、心のサポートが薄いと思います。

○長らく電話一本もなく、宿題だけが mail で送られてくる。

○3月に1回、4月に1回プリントを少しももらっただけで、その後のフォローは全くなし。4月に一度、担任から電話で様子確認があったのみ。こどもは放置状態です。

○支援をされた覚えがない。

先生とのコミュニケーションが少ない(ほとんどない)
ことへの不満。学習面でのケアだけではなく、関係構築のアプローチがないことが共通課題か



Q. 自由記述

これまで(～5月6日迄)の休校中の
子どもの学習支援について【選択した理由】

わからない/
どちらともいえない

○現況下では、学校からの学習支援(勉強に関する)は難しい(家庭で対応するしかない)と考えています。宿題を増やす、にしでも管理、チャットは家庭が行うことになるからです。学習支援よりも学校とのコミュニケーションに期待をしています。

○理想を追求すれば不満ですが、元々の学校への期待値からすると、妥当(これが限界だろうな)という感想です。

○勉強時間が授業の時間に比べてかなり少ない。遊び倒すしい経験とも思いますが

○学年による。1年生は何もなく、やや心配。3年生への対応は満足。5年生は普通。

○先生方も初めての事なので仕方ない面が大きい。

○3月、4月とも課題は一度のみの配布で少ない。先生からの連絡はホームページでのメッセージのみ。頻繁に更新されるだけでなく有難い。

○自分としてはそんなに勉強なくてもいいと思っているが、だからといって学校が放っておいてはいけないと思うので。

○コミュニケーションはほぼなし。先生からの連絡もなく、放置されている感じが否めない。学校から出される学校便りが見られないう家庭があったとしたら、それは非常に問題かと思う。

○宿題だけしていればいいのか不安になる。だからと言って、仕事もありフォローできない。

○算数のプリントが配られたが、1枚につき40問×4枚、全てわり算。昨年まで通級に通っていて、元々勉強に取りかかるのが苦手な子ですが、プリントの問題量に圧倒されてしまい、1問も手を付けていません。

(算数ドリルの方は、何問かやりましたが...)
意欲的に取り組んでいる子もいるかもしれませんが、うちの子にはちよっとむずかしかったです。

○算数の宿題が少ない。漢字の練習は量があったが、算数が少ないので、プリントを印刷して毎日やらせている。

○本人は終わっているとの事ですが、ほとんど学習する姿が見られない。別途、ドリル等を購入して対応しているが、絶対勉強時間は不足している。体育等の運動は対応が難しく再開後に付いて行けるかが不安です。

○やることはあるが1人だとモチベーションが上がらない

○はじめての小学校でどう勉強していくのかわからなかった



期待値が高くないか、仕方ない
という意見も。ただし、色んな面
で学校再開後への不安あり

Q. 自由記述

これまで(～5月6日迄)の休校中の
子どもの学習支援について【選択した理由】

どちらかといえれば満足

- 時間が無い中で、先生達が宿題を提示して下さり感謝しています。宿題の量に関しては、多いや少ないと言う事は、気にしておられません。
- 一年生なので親が教えてあげられる範囲でホッとする反面、一番大切な新生活への慣れや人間関係が育成できない。勉強の入口が私(親)の指導で今後の取り組みに影響しないか心配です。

○ひまわり学級に在籍しています。担任の先生が毎週宿題を持って様子を見に来てくださいます。親が出社して不在の日が多いので、オンライン授業等あればいいなと思います。

○先生が家庭訪問をしてしてくれているので、子どもには刺激になるし、親も学校の状況がわかって安心する。課題は親と協議した内容を出してもらえているので、満足。(ひまわりなので、通常学級では難しいですね、)

状況に応じて先生が柔軟に対応したケース

○何もなかったため、子供が落ち着いてゆっくりと、やりたいことをやって過ごせた。

○夫婦で在宅勤務、時間を融通し合って子どもたちを見ている状況。
学校からは毎週金曜日に次週の課題が出ている(学校ホームページ上で)。四年生については教科書に沿って課題が出ており自習出来ている。一年生は課題プリントがあったが簡単すぎですぐ終わってしまった。が、先生からのコメントに、あまり頑張らせすぎで勉強を嫌いにさせないようにとあったので、こんなものかと思っている。

そもそも公立学校に勉強面で期待していないので、元々通信教育(社会)をやらせているので勉強に関する不安はほとんどない。さらに各教科のドリルを与えて、横についてチェックしたり、朝顔やゴーヤを植えたりして楽しんでいる。四年生は2時間、一年生は1時間ほどでその日の課題(学校プラス親)がほぼ終わり、あとは自由に過ごしている。学校でつまらない授業を受けるよりもむしろ効率は良いと四年生の方は感じている。

学校に勉強面は期待せず

○1週間に1度、課題が書かれたメールが配信され、取り組みむべき大まかな内容が把握できたため。

○週に一度、学年通信で課題や指示が送られてきたのでわかりやすかった。本人のやる気は別として。

学校によって課題の出し方に工夫が

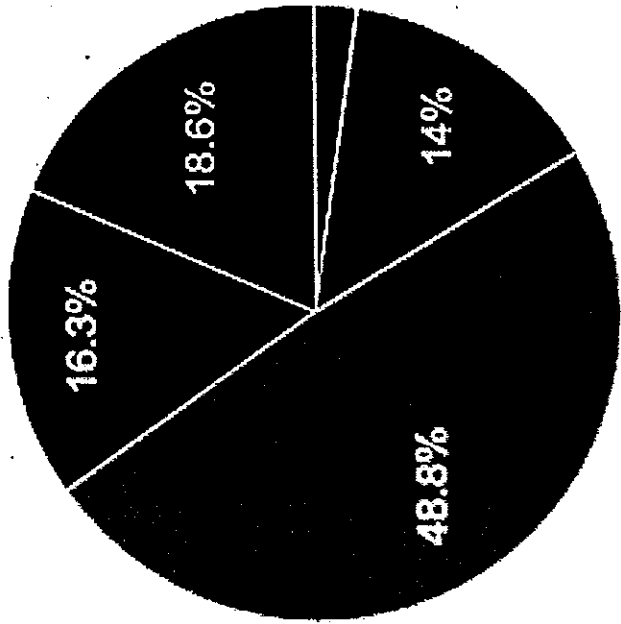
上記2つの意見は同じ小学校

Q. 臨時休校延長になり学校からの連絡に よる今後の学習支援のあり方を聴いて

【注意】学校の連絡によっては学習の詳細がわからなかったご家庭もあることも考慮してこの回答を御覧ください

N=43

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- わからない／どちらともいえない
- どちらかといえば不満である
- 不満である



「不満」「どちらかといえば不満」
=34.9%。ただし、まだ情報が不
足しているせいか「わからない／
どちらともいえない」が約半数

「満足」はほぼなし。「どちらかといえば満足」は14%

Q. 自由記述

臨時休校延長になり学校からの連絡による今後の学習支援のあり方を聴いて【選択した理由】

不満／

どちらかといえば不満①

○現状を考えると難しいですが、宿題や課題などは、もう少し多くても良いかと感じます。学力低下を少しでも抑えるには、定期的な課題提出などの必要な事だと考えます。

○これだけ待たされて普段の宿題が1週間ごとの提示&提出になるだけという状況にがっかりした。全く知らない先生と小2が電話だけでコミュニケーションがとれるとも思えないし、クラスメイトの顔が見られないままというのもモチベーションがあがらないと思う。これだけでは生活や学習に張りが出ない。

○学校に行けないなら、自宅でゆっくり過ごす時ならでの学習があると思うのだけど、旧態依然とした学習要項をプリントでこなすだけというつまらない時間にさせられてしまうから。

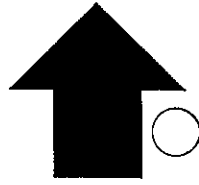
○時間割が配布されましたが、家庭でこの通りに実施するのはほぼ無理だと思えます。学習支援というよりは、ただ宿題が出されたという感じです。

○メールで週に1回課題が出るが、小1に字を書く始まりを学校でやっているように教えるのは、親では堪えられない。子どもも親から教わるのは不本意？下手な教え方に機嫌をすぐ悪くしてしまう。

家庭で子どもが勉強するには傍にその時間はずっと大人がいるいと無理だ。新しい学びには躓きが必ずある。webでもアナログでもそれは同じ。大人が自分の仕事しながらできるほど簡単ではない。そういう家庭は出遅れても後で丁寧に補講してくれるのだろうか？

○宿題だけを与えられてもそれが身につくのかは分かりません。

宿題だけ出された、という感想



Q. 自由記述

臨時休校延長になり学校からの連絡による今後の学習支援のあり方を聴いて【選択した理由】

不満／ どちらかといえば不満②

○学校からアンケートは来ましたがネット環境があるかという技術的なことだけ。困っていることとか、学校に望むこととか聞くのがまず最初だと思っておりますが、そういう姿勢はありませんでした。先生はいろいろやりたいことあると思うけど、校長と教育委員会にそれを汲み取ってアクションを起こす意志がないような印象を受けます。

○mailのみで宿題の連絡のみは小学生には厳しいですよ。

○ネット授業などによる対話教育がはじまることを期待してたのに、アンケートが実施されたのみ。進展が遅いことがとても不満です。

○対応が遅いと思います。課題がわかりにくくもありました。

○学校とのコミュニケーションが不足していると感じています。

○宿題に対するフィードバックがどうされるのかが分からない。

○5月以降のことについても、まだ何の説明もありません。(5月5日回答)

○コミュニケーションがない。メールだけなので伝わっていないこともある。(5月6日回答)

↑ コミュニケーションの不足という、大きな課題

Q. 自由記述

臨時休校延長になり学校からの連絡による今後の学習支援のあり方を聴いて【選択した理由】

わからない/
どちらともいえない①

○3、5年生は大丈夫だが、1年生は学校に行けてないので、慣れるか普通に心配。

○登校日を設けてもらえるのは、モチベーションアップにもなるし、ありがたい。しかし、1時間だけでも、授業スタイルをとってもらえるともつとよかった。

○クラス替えがあり、先生の顔もよくわからない。メールがきても響かない。

○毎週課題が出るそうですが、子どもがマンネリしてきてしまっただ。こくごとさんすう以外の科目のやりようがない。



自習が続くことのマンネリ化、
子どものモチベーションが課題

○もし、通常学級のままだったら、と思うとゾッとします。やはり、子ども自身で復習でなく学校でやっていない課題をやる、は気持ちのハードルがあるのと、親がアドバイスするには限界があります。

○ただ課題をやらせているだけに感じる。それで今は仕方がないから...みたいないな空気が蔓延している。先生たちも初めての経験で完璧を求めるのは違うとは思いますがもう少し家庭学習をやるにあたって保護者へのフォローをしてもらいたい。

○さらなる家庭に丸投げな感が強い気がする...

○このままどう子供を家庭の中で勉強に導いていけばいいかわからない

○プリントの答えがほしい。親が丸付けをするが、計算問題、文章問題、、、と考えながら丸をつけるので、時間がかかる。在宅勤務に下の子の世話に、三食作って、勉強を見て、散歩に連れ行って、丸付けも時間がかかる、、、体が持ちません。



保護者へのフォローが必要

Q. 自由記述

臨時休校延長になり学校からの連絡による今後の学習支援のあり方を聴いて【選択した理由】

わからない／
どちらともいえない②

○インターネットを活用したいというところで調査から始めるといことだが、現時点ではどのようなサポートを検討されるかがわからないのでなんととも言えない。インターネットを使ったところで、一方向のアプローチでは意味がない。

○クラスメイトや先生とコミュニケーションが少しでもとれるのはうれしいが、毎週プリントを取りに行くことの負担やzoomの安全性が心配

○5/18の週からまなびポケットを活用するそうだが、まだ効果かわからないので、勉強面での支援よりも、クラスのみんなどコミュニケーションを取る機会が欲しい。

○オンライン授業について検討すると聞いたが、始まってないからわからない。

○難しいとは思いますが、具体的に想像出来る情報が少ない

○まだ詳しい内容が知らされていないから。

○詳細不明。

○何分初めてのこと、学校側の方針が、妥当なのかどうかの判断が付かない。

○まだやっていないので

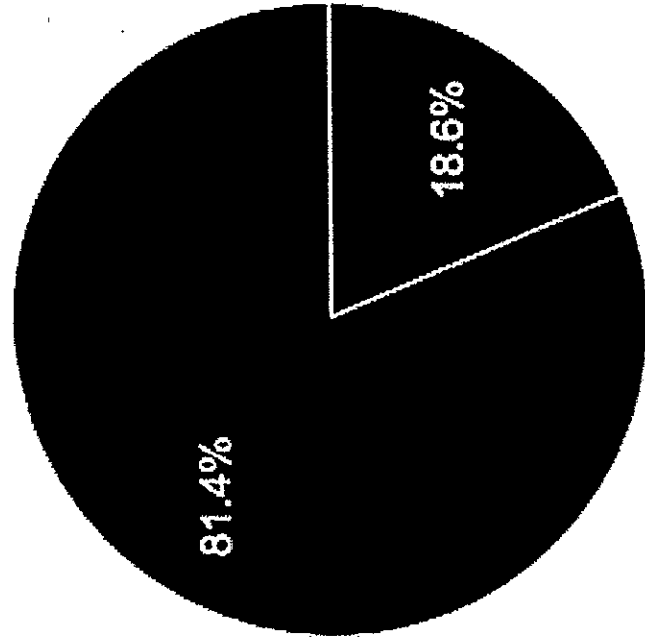
オンラインの活用も含め、まだどのよう実施されるかわからないので判断できない。



Q. 臨時休校になったことにより、学校以外の教育サービスに新たに契約しましたか？（有料のもの）

N=43

- はい
- いいえ

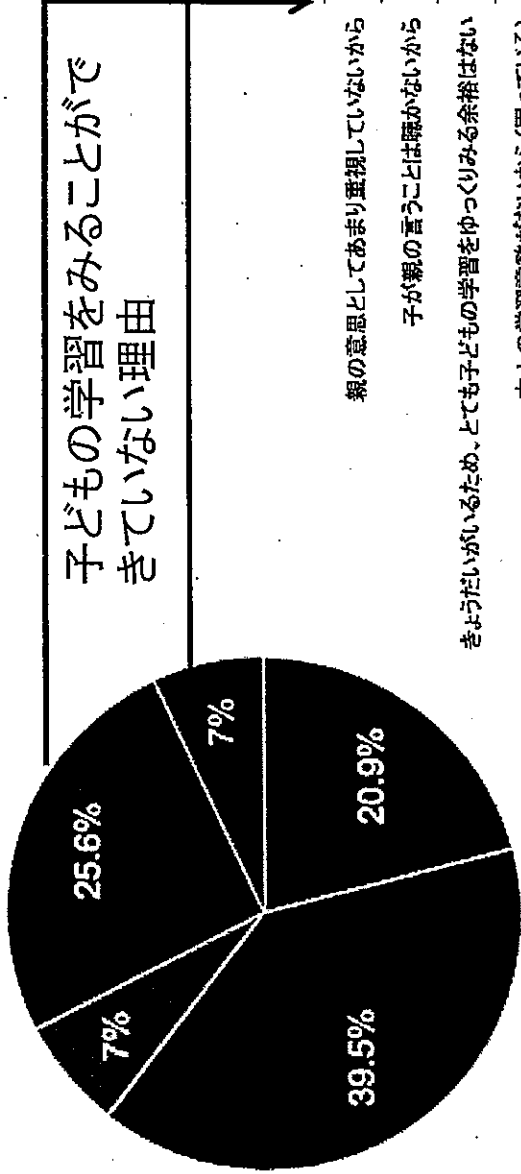


約2割が何らかの有料教育サービスを契約した



Q. 休校になって、子どもの学習をみる事ができていますか？

N=43

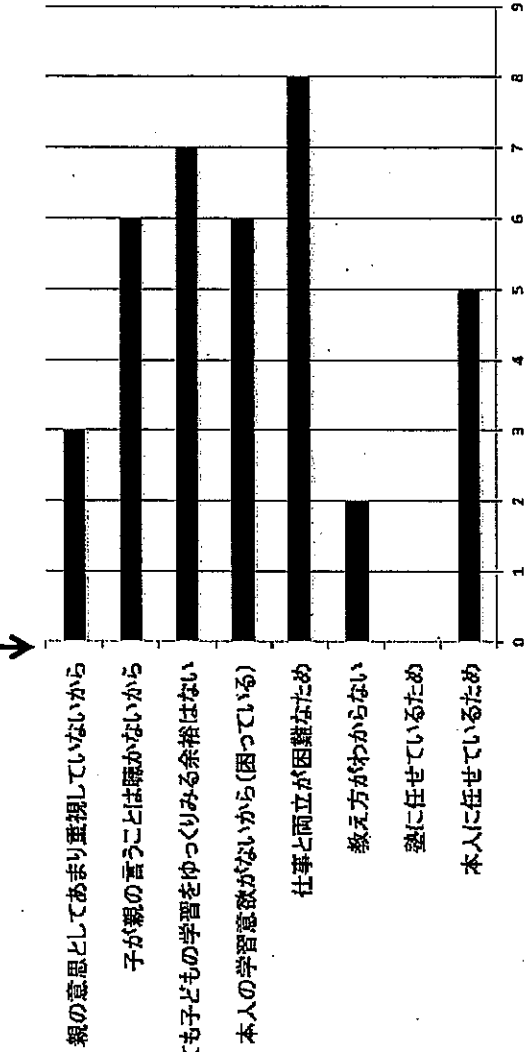


- みれている
- 少しはみれている
- どちらともいえない
- あまりみれていない (→次の理由設問)
- も回答で協力ください
- みれていない (→次の理由設問にも回答で協力ください)

6割は少なからず「みることができている」っぽい、充分ではないことを認識している回答が約3分の1



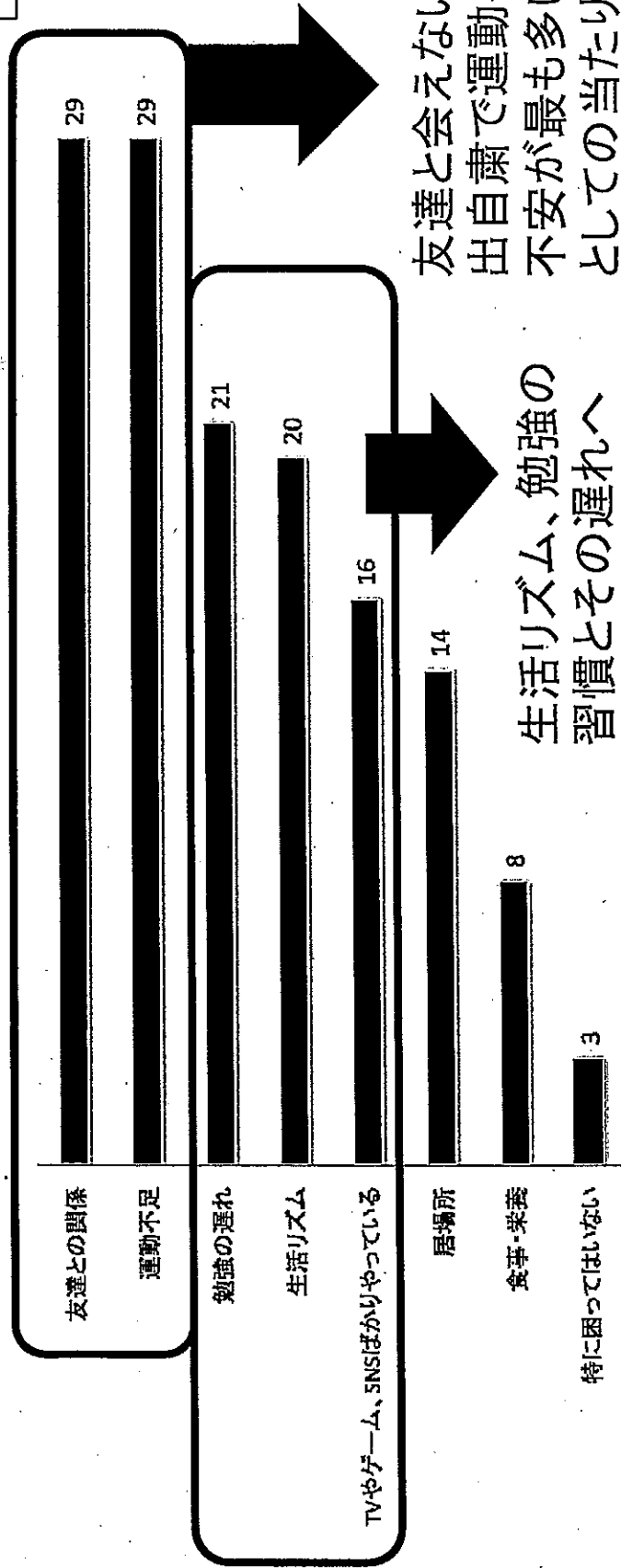
【任意】※複数選択可



仕事との両立や家族構成による環境的な要因と、家庭学習への取り組みへの不慣れ・戸惑いが原因

Q. 臨時休校が長引き、子どものことで困っていること ※複数選択可

N=43



友達と会えないこと、外出自粛で運動不足への不安が最も多い。子どもとしての当たり前の日常が過ごせない状況

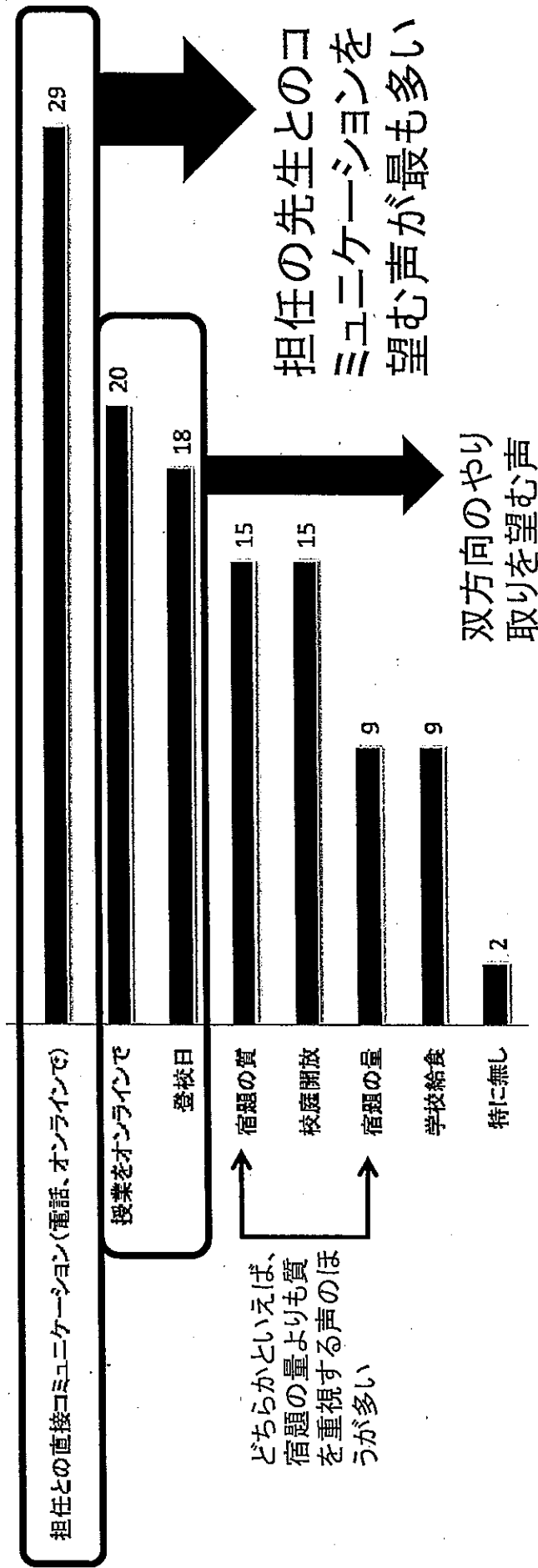
生活リズム、勉強の習慣とその遅れへの不安は根強い

その他自由記述でいただいた意見

家の近所で遊ぶなど怪文書を入れられたこと／6月に出産予定のため学校生活とのストレス対策や昼間の預け先／心
の問題(うつ状態のようになってしまうか?)／再開後のスケジュール(課題や時間が過密になるのでは? そうなる
と習得度が心配)／子ども(四年生)が発散する場が欲しい／心の成長と学び／人間関係が親のみしかもどちからか仕
事のことが多く、兄弟もいないのでマンツーマンになってしまうという状況／子どもは 社会で育ちます。この状況か
ら必ずいい方へいけるように。大人が試されているのだと思います。社会に流れる空気がコロナより怖い気がします。

Q. 休校対応の中で学校に最も望むこと ※複数選択可

N=43



その他自由記述でいただいた意見

クラスメイトとつながるハブとなること／各学校だけでなく、市内教師が協力して授業動画を配信してスピード感をもって対応して欲しいです／なにもできなくてもいいから、ともかく対話の機会／学校給食を活用し、子ども用テイクアウト弁当を販売すること／定期的な情報発信(宿題のポイントなど、何でもいいので)／この場に及び ICT化をガンガン進める社会が怖いです。人の繋がりがより大切だと思います。

Q. 自由記述 その他、学校教育について①

専業で家にいるので、宿題は見ているが、小さい子供もいて負担は大きい。公立なので過剰なサービスを求めている。(求めすぎもよくないと思う)オンライン授業をやったから、その分はハイおしまいでは不安。先生方もいま出来ることをやってくれていると思う。

休校期間中の宿題が少なく、親が教材などを選び、子供にやらせるしかない状況が続いています。ウイルス感染の状況を見ても休校期間が再度延長されたり、学校再開してもまた休校になってしまふことも考えられるので、オンライン授業を行っているだけでもいいです。学習の遅れが心配です。オンライン授業をすぐに始めることは難しくても、授業や体操の動画の配信など行っていただけたらありがたいと思います。

オンラインで一斉に授業をスタートするのはかなり難しいので、そこは無理なくて良いと考えています。とはいえ休校が始まって2か月が経ったので、学校は子供たちとのコミュニケーションの取り方について本格的に何か示して欲しいです。考える時間はあった筈です。きつい物言いになって申し訳ありませんが、出勤がままならず意思疎通が難しいとか、そういう話は無しでお願いします。それは世界中の人々が同じ状況です。学校の教員だけが特別ではありません。

こどもだけ自由や学ぶ権利を止められていて 少しでもはみ出せば 大人から叩かれる弱い立場のこどもたちを三か月も放っておく意味がわからない。

もっと早くいろいろな見通しを示してほしい。仕事上、お客様の予約管理もしなければなので、仕事が始まって迷惑かけてしまうので。子供達も小学生になったということが実感できず、言われたことをやっているだけな感じですか。

学校や先生の考えていること、方向性や途中経過が見えない。担任が変わったため、どういうモットーを持った人で、どんな雰囲気の人かもわからない。電話の問い合わせや意見なども現場で頑張っている人の迷惑になりそうではない。

学校の情報は自ら取りに行かないとわからないし、わかる情報は決まったことのみなので、先のことを考えているのか、仮に休校期間が5月末で終わったらとしたりどのように進んでいるかと検討されているかもわからないので不安。

宿題のプリントなども子どもがわからなかったときにどう教えるかと理解につながりやすいかは保護者ではわからないので、できる子ができることを確認するにはいいかもしれないが、できない子のフォローにはつながらない。

あくまで宿題しか出せないのであれば、わからなかったらここに戻ってこんな指導をしてみてもかアドバイザーもワンセットにして提供してもらいたい。休校当初は仕方ないと思うが、長引いてきているので時間が無いわけではなく、単に対処法が練られていないだけに思える。保護者は教育のプロではないし、仕事をしながら見ているに過ぎないので、そのあたりもわかってもらいたい。

Q. 自由記述

その他、学校教育について②

子どもが学校生活を忘れてしまうのではないかと、情報には少ない。ただ、3月の休校からホームページでは頻繁に更新されているし、校長先生からのメッセージもあるが、結局親が見せて話すので、うちの子だけかもしれないが積極的にメッセージを受けとる気持ちにはなれないと感じる。

5/1発行の学校だよりで「1学期期間を7/31まで(給食は7/17で終了)、2学期開始は8/25を予定」と記載されていました。私はお盆休み以外はすべて登校して、休校分を補うものだと考えており、その日数の少なさに驚きました。夏休みも新型コロナナ感染がゼロになることは考えられず、遠外出自粛は続くと思えますので、夏休みこそ、平日は毎日、午前授業と言わず通常時間割で、学習指導及び生活指導の充実を図ってほしい。また、給食終了日の設定が早過ぎると思う。子どもが登校する日は、すべて給食を提供してほしい。お弁当持参にすると、暑さでお弁当も傷みやすく、学校側の安全管理の負担も結局増えるだけ。この3月から5月の3ヶ月間、各家庭の負担は想像を超えるもので、夏休みは通常登校、給食提供をし、各家庭のこれまでの協力を補ってほしい。子どもが教育を受ける権利を現場の学校では守ってほしいし、余裕ある指導計画を作成し、夏休み含めて対応してほしい。

週に1~2回づつくらい、日をずらしでもいいので給食または配食してほしい

連絡が遅い。

5月初旬に実施頂いた担任の先生からのお電話では、子どもの目の輝きが全く違い、びっくりしました(とても嬉しかったです)。子どもはホームページを見たりの情報収集は行いませんので、やはりダイレクトなコミュニケーションが子どもにとってはありがたいです。

先行きが不透明な中 色々対応して下さって感謝しているオンラインで授業ではなくても課題のやり取りをメールでしたり何か家族以外のコミュニケーションの場があると子どもの心のあり場になると思う

情報配信が遅く、都のEテレを見逃したりして残念です。宿題の課題が分からず取り組めない。

学習支援の観点からいって、完全に家庭任せであることが問題と思っています。きちんと見れている家と、放置されている家との差が大いいかと思います。保護者は教育者でないことが大半なので、自分の子の学年が、今どの程度のどんな学習をすればよいか分かりませんし、仕事をしながら複数の子の勉強をみることはとても大変です。さらに、学年が変わり、担任の先生は始業式でほんの1時間弱顔を見ただけ、先生、児童のお互いのお互いのことを理解できていない状態であることも不安です。また、学校で今、何を予定し進めているのかも全く見えません。課題を渡し、それに対してのフィードバックをする、動画をアップする、など、今出来る範囲で、個々の学習状況の把握に学校はもっと責任を持っていただきたいです。

Q. 自由記述 その他、学校教育について③

元々、昨今の学級運営が困難を抱えているのは、児童それぞれに家庭環境・またはもって生まれた素養に差があって、それに担任が個別に応じる仕組みも・時間も・余力もないから、というのが大きいのと思っています。

その差が、この度の体校措置で、かなり開いただろうと思います。子供に教えていて思いますが、やはり教育者は、成熟した大人であることと、知識や教養が不可欠です。今のご時世、誰もが成熟しなくても社会人となり、親となることができます。親の中で、教育者も兼ねられる人は多くないだろうと思います。

よい教育を受けた親、専業主婦(夫)でいられるだけの経済力を持った家庭の児童だけが、この体校期間を有意義に過ごしたでしょう。(これは日本に限らないと思います)

うまれた格差を、子供たちはクラスで、敏感に察するでしょう。特に高学年は。そんなときに何が起こるかという、学級崩壊です。以下は、内田樹さんの「教育論」より、学級におけるいじめについて書かれた部分です。

同学齢集団の中で相対的に優位に立つためには二つ方法があります。一つは、自分の力を高めること。一つは、競争相手の力を弱めることです。問題が「相対的な優劣」である限り、この二つは同じことです。そして、「競争相手の力を弱める」ことのほうが圧倒的に費用対効果が高い。自分の競争相手たちをできるだけ無能で無力な人間にすればいいわけですから。

やり方は無数にあります。

努力している人の足を引っ張る、成熟した大人になろうとしていてる人に「かっこつけるな」とか「えらそうにするな」といやがらせを言う、個性的な人を「変だ」と言って排除し、迫害する。もつとシンプルにただ「大声を出して教室を走り回る」でも、ことあるごとに教師に食ってかかって、教師の尊厳を掘り崩すとか……やることはいっぱいあります。すべて「同学齢の競争相手の生きる力を滅殺する」という目的にはなっている。そして、現に子どもたちはそうやって日々クラスメートたちの生きる力を殺ぐべく努力しています。

愚かなふるまいだと思うかも知れませんが、短期的な自己利益の増大」という点だけを見れば、これは合理的なふるまいなのです。これで正しいんです。

親として、PTA会員として何ができるか、ずっと考えています。吐露する機会を与えていただいたことに、とても感謝しています。長々と失礼いたしました。

この状況なので、9月からを新学期にするような対応を思いきってやれば良いと思います。リモートで授業をしたとしても、小学生では結局そこに子供がじっとしているためには親がつきつきりにならなくてはならず、効果は期待できないと思います。

Q. 自由記述

その他、学校教育について④

○大切な時期ですがGW前に一度電話がきただけでした。二週間での折返しはしないでください。に学校側との信頼関係はなくなりますがね。教育委員会から言われたからやる的な。

先生方の自主性や子ども達を想う気もちは 三月4月からもっと子どもたちにむけてきたのではないですか？○○○の管理職や教員の子どもへの気もちが これほどなかったかと悲しく寂しくなりました。子どもに関心があるかないかですよね。

しかし ○○○中の三年生の先生方は全くなりかっています。不登校や気になる子へは4月から訪問してましたし電話もありました。

副読本を届けてくださる際に玄関まできてくださいました。どれほど子どもたちが嬉しかったか。保護者も安心しました。

180人の生徒の自宅を八人の先生でまわったのです。この子どもを想う行動力に感動しています。

わたしも自分ができることを行動で表せる大人になりたいです。

○教室での授業や登校日は三密になってしまっているので、せめて家庭で新クラスのメンバーが一緒に遊ぶなど少しでもコミュニケーションをとるといいのになと思います。

○学校再開にも多くの不安があります。クラス運営をされる先生方には大変なご苦労と不安を与えていると思います。子供たちや先生方の感染防止の対策をお願い致します。また学習時間の不足による学力低下や児童の心理状態など多くのケアが必要だと思います。是非、対応を頂きたいと思致します。

大人ですが、子供達も大きなストレスを抱えていると感じます。学力低下なども多くの言われていますが、学力の前に精神的なケアをお願いします。いじめ問題などに繋がらないようにお願い致します。子供達の安全な学校生活をお願い致します。

○国や都の方針が出るまで待たなくてはならないのは分かるが、学校通信でもいいので、週1回ないし2週間に一度、校長の考えが知りたい。週一や毎日のお知らせで現場の先生方(3、5年生)の頑張りは見えてます。校長先生、あなたはこの学校をどういう方向に向かわせたいの？

○これまで学童保育に通わせていたため平日昼間の子ども居場所がありました。登所自粛要請による利用申請が必須になったため5/11より学童保育に通えなくなりました。在宅勤務が多いとはいえ外出することもあり、またネット会議も多く、平日昼間の子ども居場所をどうしようか思案中です。

Q. 自由記述

その他、学校教育について⑤

学校の情報が無いのは不安です。休校と言えど何かはしていると思っただけで、結果も大切ですが、もっと過程やこんな風に進んで行こうと思っただけです。と言う状況が知る事が出来れば良いのにな。と思います。

Wi-Fiの有無、使用可能なデバイスの種類、プリンターの有無など、アンケートがありましたので、ぜひ無料アプリを使ってオンライン教育をして欲しいです。

意見や質問などを言いたくてもどこに言えばいいか、本当わからな。電話も迷惑なのかな？と申し訳なくなくなりかけられない。

勉強＝苦行、遊び＝ご褒美、という方法に転換して欲しいです。

学校の情報がトップダウンでおりてくるのを待っているのか、市内で足並みを揃えるためなのか、わからな。遅いと感じている。もう少し柔軟かつ活発な行動変容を期待したい。

学校が早く始まって欲しいに尽きます。家にいると集中できなかつたり、宿題やたと言いつつやっとなかつたり、親が指導すると泣いたりふてくされたりと限界があります。

突然家庭での時間割が送られてきたが学校の狙いが伝わってこない。メールも来るが、最も伝えなくてはいけない事が書いてなく、添付ファイルを見るように書いてある。スマホで添付ファイルはしっかり読み込めない。

決まってから連絡をしてくるが、決まる前に保護者から子どもたちからこんな声が上がっていて、それに応える方法を考えているなど、決まる前に伝えてくれたらいいのに。中学校ではそのようにしている。対応の違いに小学校にはがっかりしている。中学校からは今日までに担任から3回子ども宛に電話をもらった。副教材、宿題の追加やお知らせを自転車で乗って直接家庭に配りに来てくれた。同じ小生でこの差は一体なんだろうと思っている。

9月入学云々よりも、これを機に、各自のペースに合わせた個別の学びにシフトして欲しい(苦野一徳さんの言うような...)。年間授業時数？とか撤廃して、必要事項をクリアすればかける時間、取り組む順番は自由だと良い。プロジェクト制にして子ども同士の学びを大切に、一斉講義を減らしてくれらると思う。学童は自習要請があり休んでいるのに、学校での低学年預かり(学童に行っていない子ども限定)が続いているのは不公平だと思う(学校という場に行く機会、在宅勤務をセーブしている不満)。ただ学童だと勉強させられないので、学童に行かせたいわけでも無い。

仕事よりも子どものケアが大事だと思うので在宅勤務の時間を減らして子どもと一緒に過ごしている。しかし業務が終わらず不安ではある。職場に迷惑をかけているという気持ちはあるので、長く続けとしないで。(学校と関係なくすみません)

Q. 自由記述

その他、学校教育について⑥

母だけの在宅勤務。一人で、下の子も世話をしながら、こどもの学習にしっかり向き合えない。宿題をみると。教科書に沿って、新学年の学習を進めることになるが、教育の素人である我々が子供に理解ができるように、新しいことを教えるのは至難の技。子供もわからないので、やる気になってくれない。

一、二年生の漢字の復習をやらせると、できていないことが多い。簡単な計算も、時間を測ったり、量が増えと間違いが多。復習に力をいれて、今までやって来たことを確実に力にするような宿題を出してほしい。

子供も一度やっていることなので、少し説明すればひらめいてくれる。在宅勤務との両立もできる。

学校一家庭間の連絡も大事ですが、児童同士のコミュニケーション、保護者同士のコミュニケーションの場が大事だと思います。学校は、単に勉強をするだけの場ではなく、子どもの社会性を育むために重要な役割を果たしているので、勉強の遅れもさることながら、双方向のコミュニケーションの手段がないことにより、長い目で見たときに、子どもの成長、コミュニケーション、心の安定に影響が出るのではないかと心配しています。

夏休みや今年度の計画やら、決まらないのはわかりますが、いつ発信するのがは知りたいたいです。最初に登録したアドレスしかマイページのログインに使えないのが困

●昨年まで通級に通っており、もともと勉強に取りかかるのが苦手な子で、進級をきっかけに、タブレットを使った学習サービスの申し込みをしていた。その後休校となり、今はほぼ毎日タブレットを使っている。今申し込みが殺到していて、手元にタブレットが届かないという声も聞く。それがなかったら、さらに勉強が遅れていたと思う。

●近所で、自宅前の道路で複数の子供が遊んでいる家があるが、休校を機に、明らかに回数が増えた。我が家はその道路に面しているわけではないが、結構大きな声が聞こえる。そういった事例に対して、市民から通報があったというスクールメールがあったが、それ以降も特に変わらない。うちの子と、散歩などでその道を通るが、「道路で遊んでもよい」「休校中だけでなく外でなら友達と遊んでいい」という考えが当たり前になってしまわないか、懸念している。

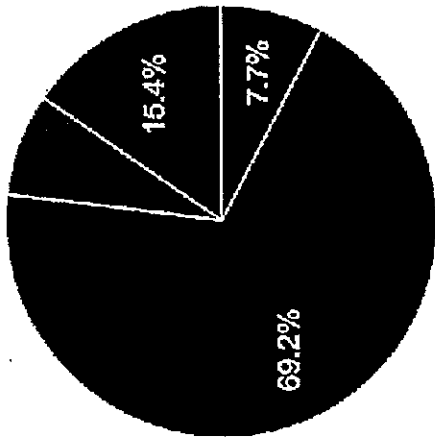
●4月の教科書配布日に、子供が先生に「久しぶり～！」と至近距離で声をかけられたが、今は距離を保ってほしい。

学童が保護者会の動きで受け入れを決めるなど対応できているのに対して、PTAが全く機能していない印象を受けます。親の意見や困り事を汲み取ったり、学校側と調整したりするのが本来の役目なはずですが、入学式でもルーチン活動を紹介するだけでした。困ってる家庭に手をさしのべる活動をすればもっと理解が得られると思うのですが。。。

大人はLINEなどで人とのつながりを感じることができているが、子供はなかなかできず、子供同士の会話などが無く、不安です。そんな中、3小PTAの有志の方々がzoomを使って、週1でホームルームの様なことをやってくれています！このままうまく学校の先生に繋がってくれるのが理想です。

Q. 休校中(平日)、あなたのご家庭の状況について

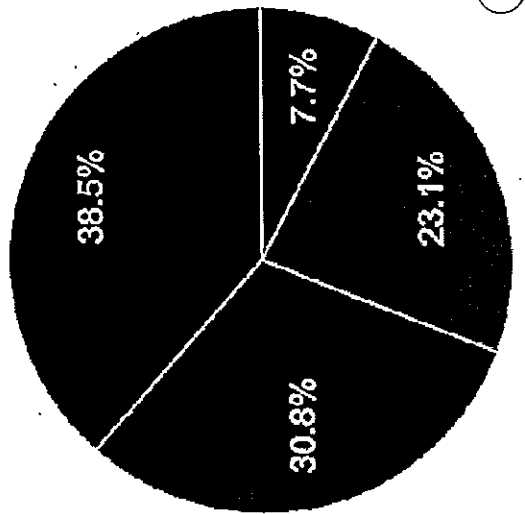
N=13



- ほぼ毎日、大人が家にいる
- ほぼ毎日、大人が家にいる (+在宅ワークあり)
- 週に何日かは大人が家にいる
- 週に何日かは大人が家にいる (+在宅ワークあり)
- 大人がほとんど家にいない (もしくは学童へ預けている)

子どもにつきつき
りでいられる方は
かなり少ない

Q. これまで(～5月6日迄)の休校中の子どもたちの学習支援について



- 満足している
- どちらかといえば満足している
- わからない/どちらともいえない
- どちらかといえば不満である
- 不満である

「不満」「どちらかといえは不
満」=69.3%と約7割が少な
からず不満に感じていた

Q. 自由記述

これまで(～5月6日迄)の休校中の
子どもの学習支援について【選択した理由】

○始業式に課題を出した後
は約一ヶ月間放置

○課題は出されるが、フォローが全くない。

○課題が少ない。電話連絡1、2回。

○先生からの連絡はなく、全くフォローされていない

○課題が少ない、工夫も無い

○卒業式と入学式だけやったという感じがなく、復習に関しても家庭での対応だし、中学も課題は出るものの、スタートには不十分。

○宿題の量はまあまあです。

○毎日の学習目標が時間割の形で配られ、わかりやすい。無理がない範囲の学習スピード。

評価する
声もある

課題を提示しっぱなしでフォローがないことへの不満

○第一弾の休校要請は急なことでもあり(前から要請が出るのでは？と言われていました)、学校も準備の余裕がなかったと思います。課題を出して頂いた点は有り難く思いつつ、学校からも働きかけが無かったことは残念です。私立高校は担任の先生より10日に一度くらい電話があります。公立中学にそこまで望みませんが、学校HPや学校一斉メールで、簡単でも、**学年の先生から業務連絡ではなく子どもたちへメッセージが欲しかったです。**

○学校からの一斉連絡のみで、個人、クラス単位の連絡はなかった。子どもは受験生のあるようだが、自分で生活をコントロールして自習学習できるほどの力はないため、3月以降ゲームとYouTubeなどネットを見て過ごす生活。オンラインで担任教師とだけでも繋がる時間があれば、少しは違うのではないかと思う。

○役人仕事、やることが遅い。課題が少ない。オンラインなんてもっと早くに動くべきだった。

○全てにおいて対応が遅い

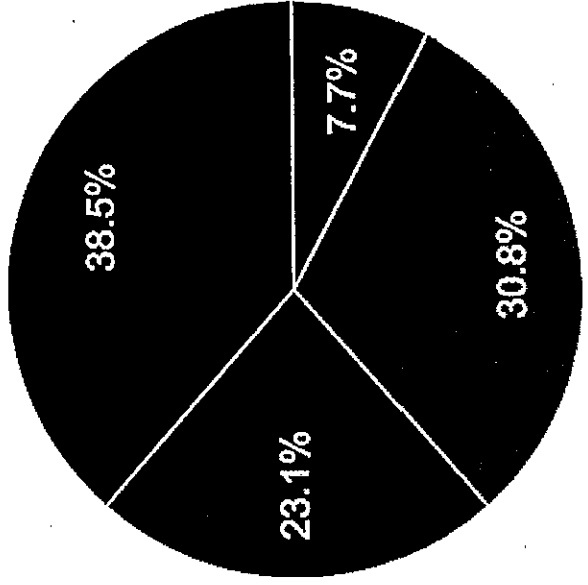
先生のエンパワメント、学校側の働きかけの不足。そのため
のツール活用の遅れ

Q. 臨時休校延長になり学校からの連絡による今後の学習支援のあり方を聴いて

【注意】学校の連絡によっては学習の詳細がわからなかったご家庭もあることも考慮してこの回答を御覧ください

N=13

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- わからない／どちらともいえない
- どちらかといえば不満である
- 不満である



「不満」「どちらかといえば不満」
 =61.6%。まだ情報が不足して
 いるせいか「わからない／どちら
 ともいえない」が3割

「満足」はなし。「どちらかといえば満足」は7.7%



Q. 自由記述

臨時休校延長になり学校からの連絡による今後の学習支援のあり方を聴いて【選択した理由】

○本当に行われるのか不安である

○詳細が全く明らかでない。休校中の自習分のフォローをどうするのかに言及なし。

○学習支援のあり方の説明が不十分またはされていないに等しい

○始業式に渡せなかったサブ教材を渡しにきただけ。

○曖昧というか、お便りのみで具体的なものはない
○どのような内容になるのかわからないので。しかし今よりはマシと思う。

まだどのように実施されるかわからない

評価する声もある

○課題提出日があり、また出席番号で時間を区切ってくれていて分かりやすいし、感染したりさせたり心配がない。

○ネット環境があるか？という質問があったので、オンライン授業等を考えて下さっているのかな、と推察しますが想像するにとどまっています。

○オンライン学習の方向性と聞くが具体的な計画が不明。また、それが始まるまでの支援もない。

○先生はいったい何をしてるのか？週5日あるんだから、**どんどんオンラインで顔を見ながら話をするとか、勉強のわからないうところを質問出来るとかして欲しい。**

○生徒と教師のコミュニケーションが皆無

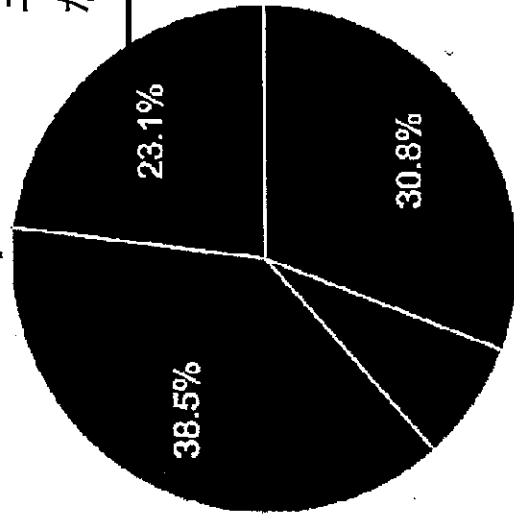
○連絡が少ない



先生とのコミュニケーションと学習支援をオンラインで受けることができないことへの不満

Q. 休校になって、子どもの学習をみる事ができていますか？

N=13



- みれている
- 少しはみれている
- どちらともいえない
- あまりみれていない (→次の理由設問にも回答ご協力ください)
- みれていない (→次の理由設問にも回答ご協力ください)



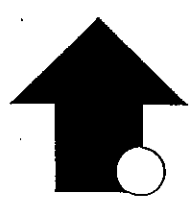
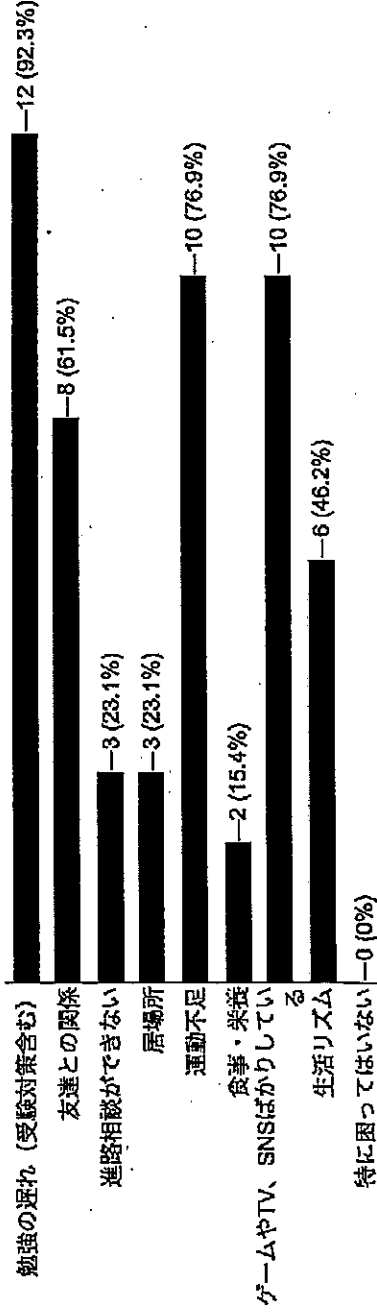
6割は充分みることができていない

子どもの学習をみる事ができていない【61.6%】→その理由

「子が親の言うことは聴かない」「本人の意欲が低い」が上位に

【任意】※複数選択

Q. 臨時休校が長引き、子どものことで困っていること ※複数選択可



「勉強の遅れ」が最も多く、次いで「運動不足」、「ゲームやTV・SNSばかりしている」に困っている

Q. 休校対応の中で学校に最も望むこと ※複数選択可

N=13

担任との直接コミュニケーション(電話、オンラインで)

授業をオンラインで

どちらかといえば、宿題の量よりも質を重視する声のほうが多い

宿題の質

登校日

校庭開放

宿題の量

学校給食

特に無し



先生との指導も兼ねたコミュニケーションを望む声が多い

その他自由記述でいただいた意見

学校から各家庭への情報発信／評価はどうなるのか？たぶんこれは全国的な課題になるので、学校というより国や各高校が決めることかな？内申をこんな状態でも大切にしますか？評価ってそもそも何だろう？

Q. 自由記述

その他、学校教育について①

望むことの結論を先に申し上げます。

①テレビの無いご家庭は少ないと思うので、JCOM多摩放送活用して下さい。市長の散歩はもういいです。通っている学校単位の対応でなく、市内各学校持ち回りで、授業を流したり先生が登場するだけでも子どもたちは喜ぶと思います。

②映像の活用是非お願いします。先生方も授業の準備は今まで以上に大変だと思います。まずは学活からでも。理想はクラス単位zoomで。

このような緊急事態にあつて、学校に色々望むのは申し訳なくもありませんが、家庭だけで子どもの成長を支える(勉強も精神も)のは難しく不安を感じます。かと言つて、この状況で学校再開は全く希望していません。三密過ぎます。今ままで通取り取り戻そうとしないで欲しいです。学校によつては、朝学活をオンラインで行なつて下さつていたりとか。羨ましいです。それほど学校にイキイキと通つていたわけではないですが、人とコミュニケーションを取りたいだろうな一と子どもを見ていて思います。

長々とまわり無く記入して申し訳ありません。親自身も不安です。私は我が子目線ですが回答出来ませんが、色々な立場の保護者の方がそれぞれの目線で考えて、小井の子どもたちの命も学びも守られますように。

他の自治体と共同でも、JCOM等を利用したTV講義でも出来ないものか。

オンライン授業の早期実現を望みます。双方向コミュニケーションをとりやすくしてほしい。

兎に角、学校及び市教育委員会の方針が不明。オンライン教育が出来なくても、一人一人電話を掛けるなど教師としてのフォローの方法はあるはず。

3月から休校になり、オンラインで学習する可能性があつたにも関わらず、そのための方法の検討や準備前の調査などがされていったのか？保護者には見えていない。学校の教員のみでは難しい点があれば、PTAを通じてなど保護者や地域の力を借りるなど手はあるはずなので、もっと学校を外に開いてほしい。

国や都をあてにせず、市単位でどんどんオンライン授業を進めて欲しい。そういう環境にないなら、距離を保ちながら、教室を使うとか、通信料を市で持つとか、PCがなくてもスマホがない家などないでしょうか？なければ無償レンタルなど、やれることはいくらでもある。9月入学とかそんな議論より、まず今の状況を積極的に変えて欲しい。公務員の仕事の遅さには辟易する。ついでに言えば、市議会議員のTwitterでの食事レポなんていらぬ。もっと働け。

他の自治体に比べると遅すぎる対応で、学校は頼れないので塾や親でカバーするしかないと諦めている。財政がないからオンライン授業ができないのではなく、お金をかけない方法を考へて実行してもらいたい。若い先生やITに詳しい先生の意見や計画を、管理職の先生方も前向きに捉えて協力してほしい。学校ごとの足並みを揃えることに重点を置かないで欲しい。学校ごとのホームページは何のためにあるのか、もっと活用してみたい。

Q. 自由記述

その他、学校教育について②

学校からの発信が全くなされていい。

4月始めに校長の挨拶をHPに載せて以来、行政の情報をのせるだけ。しかもメールシステムがあるのにもかかわらず、アップしたことさえ教えてくれない。

〇〇中は毎週、学年便りと課題がHPにアップされ、教職員から生徒へのコミュニケーション努力が感じられる。〇〇中はほぼ無し。学校や教職員の力量により差があるので、市内で統一してほしい。

中学校の三年生の先生方は 素晴らしいです。週一で ゆっくり話せる電話をくださっています。心を寄り添わせて下さいませ。親子で 先生方との信頼関係が強くなりました。このような素晴らしい先生方が小金井市にいる、宝です。

シングルマザーなので、全般的に
難しい部分がある

中一の第二子は私立ですが、毎日通信授業、メール等で連絡がとりあえる状態を整えて下さっています。週に一度は電話連絡で子どもとのコミュニケーションを取ってくださっています。

それに比べて中三の子には月イチでの電話連絡があつたのみ。また、親への連絡は全くなく、ホームページを更新したとの連絡も無いため(小学校は変更時にメール配信あり)、気づかないことも多く放置されてる感じがし、受験生の親として不安です。

評価はどうしようと考えているか、変わってもいいし、このご時世変わるのには当たり前なので、アイデアでもいいので、知りたい。

2020年5月15日（金）

小金井市長 西岡真一郎 様

新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会派要望（その6）

会派：小金井をおもしろくする会
白井亨・水谷たかこ

市議会会派・小金井をおもしろくする会として、以下の通り、要望する。

<要望事項>

○新型コロナウイルス関連寄付金の創設と受付窓口の設置及び広報に取り組むこと

「10万円の給付金を受け取ったら、市で困っている人のために寄付したい」という市民の声にこたえるよう、関連寄付金を創設すること。寄付の受付方法をわかりやすく広報するなどの対応を、給付金支給までに実現すること。

○集団健診や予防接種の個別対応を早期に実現すること

4月24日に公式ホームページに公開された「新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針（第1弾）」に「集団健診の個別健診化」が書かれているが、まだ実現していない。時期を逃すことで、個別支援の開始が遅れたり、予防接種の見通しが立たないなどの不安を持つ保護者および子どもの健康のために、早急に実現するように求める。

○ゆりかごの柔軟な相談事業体制を実現すること

オンラインでの相談や、予約による電話相談など、保護者の悩みに寄り添えるような相談体制の早期実現を求める。

○児童館・公民館を一部開放すること

各施設でお悩み相談や動画配信などに取り組んでいることは評価したい。外出自粛の中、公園での外遊びにも制限がかかる中、感染症対策をしながらも児童館や公民館を子どもの居場所（学習支援を含む）として一部開放することを求める。

○図書館事業を一部再開すること

在宅時間の増加や学習面でのサポートにおいて図書館の資料が利用できないことにより、市民の経済的負担が増している。また生活用品の宅配需要によって、書籍の宅配に支障が出ている現状もある。そこで、ホームページのリニューアルも完了したこともあり、予約資料の貸し出しサービスを復活することを求める。あわせて、送料は利用者負担として宅配等で貸し出すことや、あらかじめ数冊の本を袋詰めし自分では選ばないような本と出会

うサービス（大人向け、子ども向け、中高生向けなど）も検討すること。

○放課後等デイサービス利用者の現状把握と必要な支援をすること

利用自粛を呼び掛けているとのことであるが、生活のリズムの乱れなどで、子どもが不安定になっているとの報道がされている（5月11日東京新聞23面）。保育園や学童保育所と同様に、保育が必要な子どもがどの程度いるのか現状を把握し、ニーズに合わせて特別支援学級（学校）での受け入れも含め検討すること。

○医療的ケア児・者や訪問看護、訪問介護等の現状把握と必要な支援をすること

消毒薬や衛生用品の不足が生命にかかわることから、必要に応じて物資の提供をすること。サービス提供事業者の人手不足等で看護者・介護者に過度の負担がかかっているか、実態を調査し、家族のレスパイトケア利用を促したり、事業継続ができるよう事業者への支援も行うこと。

○給付金等の申請サポート体制を構築すること

多種多様な給付金や補助金等がある中、「自分はどの制度が利用できるのかがわからない」、「煩雑な手続きで、申請をあきらめてしまう」という市民の声を聴く。そのような市民の声を受け止める総合窓口の設置を早急に行い、市民掲示板等も用いて市民に広報すること。また、社会保険労務士、税理士、行政書士等の専門家団体に協力を依頼する等、市民の多様なニーズに応えられるようにし、会場提供や広報に協力すること。

○国民健康保険料を改定前の料率に戻すこと

我が会派も賛成し令和2年第1回市議会定例会で引き上げた国民健康保健料率を改定前に戻すこと。※既に立川市で同様の取組あり

○公的支援等を受ける際の証明書類の発行手数料を無料にすること

緊急事態宣言下において収入減など生活や社会生活維持に困っている現状においてこれら申請が行われ、証明書類が必要となる。この場合の発行手数料は無料にすべきである。※多摩地域の複数の自治体で実施済み

○妊娠届出書・母子健康手帳の交付や出産時の育児パッケージを郵送対応すること

多摩地域の複数の自治体で既に実施しているが、わざわざ来庁（現在は保健センター）してもらいことなく、郵送で対応できれば市民および職員の双方にとって感染リスク防止につながる。

<前回から引き続き強く要望する項目>

○事業と予算の抜本的な見直しで財源を確保し、市民の生活を守るため大胆な財政出動をすること

今年度の当初予算のうちイベントや啓発活動等、今年度は必須ではない事業をすべて凍結し、その予算を市民と事業者の生活を守る（各種支払い猶予、減免、支援、貸付、保育士等への危険手当支給、事業者支援のための地域商品券発行等）政策投資へ振り分けること。速やかにその組み換え予算を編成すること。

○ひとり親家庭への市独自支援を実行すること

ひとり親家庭は経済的に困窮しやすい。就労環境の変化等によりさらに苦しい状況に追い込まれていることが懸念される。市独自での支援策を検討し実行すること。

※既に多摩市、武蔵野市、府中市などで実施（または予定）

以上

令和2年5月14日

小金井市長 西岡真一郎 殿

小金井市教育長 大熊 雅士 殿

小金井市議会公明党

新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望 第五弾

緊急事態宣言が長期化するなかで、小金井市においても新型コロナウイルスの感染者が17名となり依然として予断を許さない状況が続いている。本日(14日)政府は、緊急事態宣言の一部都道府県の解除宣言を行うと聞いているが、東京都においては、更なる努力が必要になる事は言うまでもない。一人10万円の臨時特別給付金の支給については、11日から特例受付が開始するなど、ご努力頂いているが、正確な中にも一日も早い給付を改めてお願いをする。

これまでの緊急要望で要望してきた内容で未検討の項目については、引き続き強く要望するものである。今回は、以下に新たな項目を要望する。

記

1. 緊急要望第一弾～当第五弾に対する対応・検討状況について返答をいただきたい。
2. 東京都や他の自治体にならい、令和2年度に当初計画していた事業の中で、数カ月単位で延期する事業、来年度へ送る事業、廃止する事業、コロナウイルス関連の新規事業を、遅くとも第二回定例会の冒頭には議会へ示すこと。
3. 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の小金井市への交付限度額205,897千円を見込んだ政策方針について、第二回定例会の中で明らかにすること。
4. クラウドファンディングを立上げ、地元商店の応援を行うこと。
5. 家賃補助(テナント料)について国の補正予算成立を待てない状況である。地方創生臨時交付金の上乗せ分と、補正予算成立を見越して、市費で5月中に前倒し支給をおこなうこと。
6. 「緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付・住宅確保給付金」等を対応頂いている自立相談サポートセンター(社会福祉協議会内)について、在宅勤務の市職員を応援に回すなどして、相談業務の枠を増やし、市民の問合せに手厚く応えられるよう体制をつくること。
7. 防災行政無線の内容が聞き取りにくいというお声もいただいている、この機会に港区の取組等を参考に、防災行政無線の内容も確認できる、防災ラジオの普及をはかること。
8. このところ頻繁に地震が発生している。三密を回避する非常事態宣言下において、災害が発生した場合の、対応マニュアルおよび、避難所等の運営指針を検討し市民への周知すること。
9. 国費での「子育て世帯臨時特別給付金」については、6月の支給準備が進められているが、早急に、市費においても生活困窮子育て世帯に対して現金給付をおこなうこと。

10. 市営自転車駐輪場定期利用について、特に、緊急事態宣言中の学生の定期利用料金については返金および、更新手続きを猶予すること。
11. 図書館・学校図書館や公民館・集会施設について、国や都の示す方向性を確認して、時間的な制限を設けるなど安全な利用方法を案内し、工夫をしつつ早期再開を目指すこと。
(ア) 図書館・学校図書館については、文科省 4 月 23 日発の事務連絡（取組み事例）等を参考に、して前向きに対応していただきたい。
(イ) 公民館や集会施設については、施設内の印刷機が使えないなど、地域の団体（サークル、自治会や自主防災会、子供会など）が新年度の運営に苦慮している。
12. 大学・短大・専門学校等に通う市内在住の学生を対象に、市で学費無利子貸付をおこなうこと。
13. オンライン学習の環境が整っていない小中学生のご家庭にタブレット、Wi-Fi 貸与する事をご検討いただいていることを感謝する。4 月末には、公立学校情報機器整備費補助金として国からは小金井市に約 5 千台分（2 億 2 万円）の配分の内示があったと聞いているので、十分に活かしていただきたい。それと並行して、ネット環境の整っていない児童生徒は、学校に登校し三密の無い状況で授業を行い、その模様のネット配信する仕組みを検討すること。
14. 小中学校の夏休み授業の話も出ている、学校体育館のエアコン設置工事については、可能であれば今の時期に前倒しで行うこと。

以上

令和2年5月14日

小金井市長 西岡真一郎 様
小金井市教育長 大熊雅士 様

新型コロナウイルス感染症への緊急対応に関する要望書（2）

自由民主党・信頼の小金井
湯沢綾子、吹春保隆、遠藤百合子、清水がく、五十嵐京子

令和2年4月30日に成立した令和2年度補正予算において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下「本件交付金」という。）が創設された。本市の新型コロナウイルス感染症への対応に関わっては、市独自の支援策が見えないとの厳しい声も市民から上がっているところであり、本交付金を有効に活用することが求められる。実施事業の選定にあたっては、以下の点を特に重視し、実施計画に盛り込まれたいと会派として要望する。

1 遠隔・オンライン学習の環境整備

学校の臨時休業等の長期化に伴い、授業の遅れや教育格差が生じることへの懸念が高まっている。各家庭のオンライン学習環境の整備や、指導にあたる教員をハード・ソフトの両面で支援するための取組みを実施すること。

2 各種相談・申請支援窓口の設置

感染症に関し国や都より様々な支援が実施されているが、その内容や申請方法が分かりにくいとの声が上がっている。関係団体や士業団体等との連携・委託により、関連する問題の相談や支援を行うための窓口を設置すること。

3 生活困窮者に対する独自給付金の支給

今月末より特別定額給付金の支給開始が予定されているが、それを踏まえても、感染症に係わる収入の減少などで経済的に苦しい思いをされる世帯がまだ多数あることが見込まれる。所得制限などを設けた上で、市民の目に見える形で市独自の給付金の支給を検討すること。

4 市内事業者への家賃支援

事業者への家賃補助は、国においては「3分の2の家賃援助、3分の1は自己負担」で検討が進められているが、市内事業者の極めて厳しい経営状況に鑑み、市からも給付による独自支援を行うこと。

5 学校給食関係事業者への支援

臨時休業等により影響を被る学校給食関係事業者等が学校再開時に安定的に事業を継続することができるよう、関係者と十分な協議を行い、一時的な代替販路確保や体制維持のために必要な取り組みを支援すること。

6 公共的空間の安全確保

公共施設、社会福祉関連施設、学校関連施設などについて、休業や活動自粛を余儀なくされている方々の参画も得ながら、サーモグラフィーの設置や検温、隔壁の設置など今後安全・安心に利用するための取組みを実施すること。

以上

小金井市長 西岡 真一郎 様
教 育 長 大熊 雅士 様

新型コロナウイルス感染症に関する申し入れ（第5回）

2020年5月14日
日本共産党小金井市議団
水上 ひろし
たゆ 久貴
板倉 真也

新型コロナウイルス感染症に関して以下の点を要望します。

とりわけ、飲食店をはじめとした事業者は深刻な事態にあり「自粛と一体の補償」が必要です。市としての支援策を求めます。また、特別定額給付金については、「早くもらいたい」との要望が大変強く、市民の要望に応じていただくよう要望します。

記

1. 飲食店などが行っているテイクアウトについての支援策の検討を求める。
丹波篠山市では半額補助を行っている。こうした補助制度やテイクアウトに係る費用などについての支援策を早急に実施すること。
2. 特別定額給付金の特例措置を来週まで延長することを求める。
11日にダウンロード申請が開始され15日までとされているが、多くの市民はそのことを知らないため、申請を1週間程度延長するとともに、市民への周知を行うこと。
3. 公民館での印刷機・コピー機の使用ができるようにすることを求める。
公民館の閉館に伴い印刷機・コピー機が使用できなくなり、多くの市民団体が困っている。
印刷機・コピー機の使用は使用人数を制限するなどすれば「3密」にはならないと考えられる。時間や場所を指定するなども含めて使用できるように対応すること。

以上